

会議録

会議の名称	平成 15 年度保谷公民館運営審議会第 3 回定例会
開催日時	平成 15 年 7 月 16 日（水曜日）午後 7 時から 8 時 38 分
開催場所	保谷公民館第 2 会議室
出席者	会長：北岡委員 副会長：西谷委員 委員：濱崎委員、水野委員、武田委員、関谷委員、米村委員 職員：福本館長、近藤事業係長、古瀧分館長、長谷部分館長、藤森公民館主事、出ッ所
欠席者	内田委員、仲川委員
議題	1. 保谷公民館運営審議会第 1 回臨時会会議録について 2. 主催事業の企画について 3. 公民館統一について 4. 委員研修会について 5. 関東甲信越静研究大会実行委員会の動向について 6. 都公連委員部会参加報告について 7. 次回の日程について
会議資料の名称	1. 公民館事業計画書 2. 公民館設置及び管理等に関する条例の改正について 3. 都公連委員部会配布資料
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>1. 保谷公民館運営審議会会議録について 問題点の確認 ※特に問題なし</p> <p>2. 主催事業の企画について 住吉公民館</p> <p>1 知っておきたい生命保険と個人年金の基礎知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な意見と質疑 (Q) 講師の謝金は必要ないようだが、交通費程度は支払わないのか。 (A) 財団が派遣する講師なのでその必要もない。 (Q) 定員枠の 30 人で足りるのか。 (A) オーバーした際は、講師と相談の上、部屋の定員まで対応したい。 <p>2 「環境講座」川の自然と生活 partⅢ</p> <ul style="list-style-type: none"> (Q) 定員の 20 人はこれで一杯なのか。 (A) 40 人までは応じられると思う。 (Q) バスで出かけるようだが、借上げるのか。 	

(A) 市のマイクロバスで出かけた。

(Q) 保険加入について公民館だより等に明記されるのか。

(A) 公民館保険で対応しているが、特に明記はしていない。

(意見) 例年高齢者の参加が多いようだが、外出時の配慮は十分するように心がけてほしい。

ひばりが丘公民館

1 健康講座「生活の中での健康管理」

(Q) ウォーキングの間に歌の講座が入るが、その意味付けは。一気に教わったほうが効果が上がるのではないか。

(A) 講師の都合もあるが、一息入れる意味もある。

(Q) ウォーキングをしながら、どこかへ外出したりしないのか。

(A) 室内での講義と聞いている。

2 初心の篆刻

(Q) 前回の未受講者だけで定員一杯になるのか。

(A) 去年の応募数から見て一杯になろうかと思う。

3 子ども手話講座「手話を楽しく学ぼう」

(Q) ぜひ多くの子供を受け入れてほしい。20人で限度か。

(A) 出来る限り多く受け入れたい。

(意見) 1度だけの講座にせず、継続してほしい。

(意見) 子どもだけでは定員に満たない心配をしているようだが、親子での受入をPRしてみることを検討してみたらどうか。

(意見) 学校へ出前して企画してみることも考えてほしい。

4 お母さんの勉強室

(意見) 友達を作れない女性も多く、こうした講座がきっかけで、子育てに対して心強く思ってくれれば良い。

3. 公民館統一について

○館長：

7月5日に報告会を行い、市民との意見交換を行った。次の予定としては、9月議会に向けて条例改正の準備を進めている。現在作業中につき、条例改正の趣旨については、配布した資料のとおりである。

※特に質疑なし。

4. 委員研修会について

○館長：

11月頃に田無の公運審と合同で研修会を催したい。具体的な企画について意見を述べてほしい。

(意見) 一方的に話を聞くだけの講演会でなく、話し合いの場を持ってほしい。11月中の夜間を希望する。

5. 関東甲信越静研究大会実行委員会の動向について

○館長：

さいたま大会参加者全員にアンケート調査を依頼することになった。来年度は、東京都が幹事であり、今年を受け付け状況・大会の雰囲気をつかむために調査するので協力してほしい。

6. 都公連委員部会参加者報告

○館長：

前回の公運審では、委員部会への参加者なしということで決定していたが、その後濱崎委員より都合がつくとの連絡があったために、急遽参加をお願いしたことを報告する。

○委員：

委員部会の研修テーマについて討議した。15年度も昨年度に引き続いて、「子どもを地域で育てる」「多様な市民ニーズに対応できる公民館」をメインに据えて研修することになった。

発言の中では、異世代間交流の大切さ、若者の居場所づくり、これからの公民館のあり方、公運審委員のあり方に対する危機感などがあがっていた。

7. 次回の日程について

9月17日（水曜日）午後7時

次回以降については、第3木曜または第2水曜日の午後7時に定例的に開催することを決定した。ただし、本日欠席している委員の都合により最終決定する。